

オリーブオイル便り NO. 4

有限会社地中海物産 2019年3月3日

ご購入ありがとうございます。

今回は良質のオリーブオイルを安定的に採るためのオリーブ園の工夫を紹介します。

現地の農園はオイルの搾油に向けた種類の木のみを農園一杯に植えて単純に収穫量を最大にする方法を取って、収穫量は落ちるが丈夫で、天候が余り良くなくても十分実を付けていく、動物のリーダーのような木を全体の1割程度交えて植え、受粉時にはその木の花粉を中心に人工受精し農園全体を環境や病気に強い体質に育て上げています。

ちなみにオッサーニ農園のオリーブの木は以下の三種類です。

①Leucin レッチィノー ②FRANTOIO フラントーイオ ③PENDOLINO ペンドリーノー

(ペンドリーノーは全体の1割以下で、実を付ける為の木です)

このような方法は信州のリンゴ園でもやっていて、その木の特性を考え、長期的な視野から安定的な収穫を得ていく重要で必須な事だそうです。



話は違いますが、昨年8月にオリーブオイルの出荷港ジェノバで1967年に建設された高速道路が崩壊し、多数の事故が出たことをご記憶の方が多いと思います。その道路は築50年強であり、大雨と荷重の重いトラックが負担を与え、崩壊に至ったそうです。同じイタリアで、2000年前の建物に現在も住んでいる方々の紹介テレビもありました。イタリアの土木工事はローマ時代から果たして進歩したのでしょうか！ 他人事ではありませんね。

